

## UNi-iPD/V UNI-iPD/V MK-2 自動再生、自動停止機能に関する補足説明

UNi-iPD/V UNI-iPD/V MK-2 の自動停止、自動再生機能に関しまして、誤解されておられるケースが多々あるようですので、補足説明をさせていただきます。

自動再生機能は、iPhone iPod の音楽再生を手動操作無しで行う機能ですが、あくまで汎用モデル（インターフェイス側のみで行う）ですので、車載専用機器と同じ動作をさせることはできません。付属の「接続マニュアル」による接続手順や、iPhone iPod 側のプログラムに準じた接続解除方法などが必要になります。

### 1. 自動停止機能

自動停止機能は、iPhone iPod の音楽再生、ビデオ再生を一時停止（ポーズ）状態にするものであり、iPhone iPod 自体を完全停止状態にするものではありません。通常接続されている車載AV機器は、ACC/OFFにより動作を停止（音楽再生：パワーアンプ停止、ビデオ再生：モニターが動作を停止）しますので、見えない為勘違いをされる方が多いようですが、iPhone iPod は、あくまで一時停止状態ですので、特にビデオ信号は一時停止した時点での静止画像を出力したまま、停止した状態になっています。iPhone iPod の機能であるスリープモードの時点では次にACC/ONにした時には、その一時停止状態から再生を再スタートしますが、ディープスリープモード（長時間放置した場合）には、iPhone iPod 側は、一時停止状態を自ら解除します。

### 2. 自動再生機能

上記のように、iPhone iPod がスリープモードの時点では、ACC/ONにて自動再生機能は働きますが、一旦ディープスリープモードに入った場合には、正常に動作することはできません。当社のマニュアルにも記載しておりますが、基本的には短時間車から離れる場合を除いて、基本的に iPhone iPod とUNi-iPD/V のDOCK 接続を解除して頂きませんと、次の始動時に正常な動作を行うことはできませんので、ご注意ください。

3. 現在のiPhone iPod touch は、映像再生に関しては、iPhone iPod 側のマイコン（プログラム）が、接続した機器が アップル社のライセンス製品かどうかの確認を行って、出力の可否を決定しています（オーディオはフリー）。従いまして、接続のまま ディープスリープモードまでなった場合には、iPhone iPod に異状を与えたものとして、次の動作時に、「拒絶表示」を行う模様です。これに準じて、「充電機能」に関しても、同様にiPhone iPod touch の場合には、プログラムにて管理されておりますので、同様に「充電不可」状態が発生します。

弊社の確認では、DOCK接続を解除せず、一昼夜放置した場合、次に動作させた時点で、ビデオ再生をさせようとしめすと、製品に同封しております 現在の ISO 4.2.1 の場合の表示をせずに、iPhone iPod 側にてのビデオ再生モードになってしまいます。

その際には、一旦停止させますと、操作画面右上に

**再生中**

が表示されています

ので、そのボタンをタッチすれば、映像の外部出力が動作します。以上、自動再生、自動停止機能に関する、「補足」をご案内申し上げますので、御参考にして頂きますようお願い致します。

尚、完全にiPhone iPod が「拒絶状態」になった場合には、一旦 iPhone iPod を パソコンにて 「i-Toune」に接続し、プログラム更新を行って頂く必要が出てまいりますので、ご注意ください。

